

| タイトル | 提出先 | 発信日 |
|----------------------------------|-----|------------|
| 「知的財産推進計画 2026」の策定に向けた意見募集に対する意見 | 内閣府 | 2026 年 1 月 |

「知的財産推進計画 2026」の策定に向けた意見募集に対する意見

＜意見の内容＞

意見の分野：（C3） 新たな国際標準戦略

知財推進計画 2025 にて言及されているように、「新たな国際標準戦略」（以下「新戦略」という。）を定め、国際社会や我が国が抱える課題の解決や経済安全保障に向けた日本の積極的な貢献として、国際標準化活動を通じ社会課題解決と市場創出を先導する。(抜粋) このような認識のもと、我が国でも国際標準化活動を推進していく取り組みに賛同致します。

特に、同じく言及されている標準必須特許（SEP :Standard-Essential Patent）等による標準の普及や競争力への影響の観点（FRAND 条件・料率、禁訴令等に関するライセンス交渉やグローバル紛争）について注視し、必要な取組を進める。(抜粋) との取り組みは非常に重要なものと弊会は捉え、以下に意見を述べさせていただきます。

- ・国際標準戦略の策定・ルール形成の促進について
- ・実施者団体交渉について

知的財産推進計画 2026 策定に向けた検討における第一回構想委員会(令和 7 年 11 月 21 日)議事において、竹中委員は「SEP 権利者に特許プールがあるように、実施者側も個別交渉のコストを下げ、サプライチェーン内の特許消尽を考慮したロイヤルティの払い過ぎを防止するため、実施者交渉団体を形成することが好ましい。このような団体は一括ロイヤルティ徴収が可能となるため、SEP 権利者にとっても有益である」との意見を提出されました。

SEP の実施者による交渉団体としては、昨年ドイツで Automotive Licensing Negotiation Group（ALNG）が結成されました。これは自動車に特化しない SEP ライセンスの交渉効率化を目的とし、ドイツカルテル庁の承認も得ています。

弊会は、実施者交渉団体の構成ができるようになることにより特許ライセンス環境の透明性が向上することを期待しています。原則として、FRAND 宣言がなされた SEP のライセンスは、公平・合理的・非差別的条件下で提供されるべきですが、通常の二者間交渉では秘密保持契約等により他の交渉内容との比較ができず、条件の妥当性を確認することが困難です。

また、一般的なパテントプールは権利者側の意見が主に反映され、実施者の意見が十分に反映されない場合が多く、そのルールの根拠が不明確で不透明となりがちです。

したがって、権利者団体が構成するパテントプールのルールメイキングに実施者が団体として参画し、意見を反映させることで、公平・合理的・非差別的な条件が担保され、ライセンス環境の透明性が向上できることを期待しています。

このような実施者交渉団体の実現には、独占禁止法の遵守が不可欠であり、関連法規やガイドラインの整備が必要です。これらの施策により、透明性のあるライセンス環境が実現し、標準規格の社会実装が進むことでイノベーションが促進され、社会全体の便益につながると考えます。

今後、SEP ライセンス環境向上のために、このような実施者団体交渉の在り方についての幅広い議論が進むことを期待します。

・英国特許庁の取り組み

海外の状況を見ると、英国特許庁（UK IPO）は SEP のライセンス環境整備に積極的に取り組んでいます。具体的には、RDT（Rate Determination Tribunal : ライセンス料率決定機関）の設置や SEP 情報の可視化・公開など、透明性と予見可能性の向上を目指した施策を進めています。これらについて UKIPO は 2025 年にパブリックコメントを募集しました。

(参考 : <https://www.gov.uk/government/consultations/consultation-on-standard-essential-patents-seps/consultation-on-standard-essential-patents>)

弊会もこれに対して以下のコメントを提出しました。

(参考 : https://www.jama.or.jp/operation/it/ipr/opinion/sep_opinion14.pdf)

主に、公的機関によるライセンス料率決定の迅速化・効率化や、情報公開による交渉の透明性向上など、これらの取り組みはライセンス交渉における情報の非対称性を解消し、透明性を高め、健全なライセンス環境の実現に寄与するものと考えます。

我が国においても、透明性のある健全なライセンス環境の実現を強く希望します。